

【年代】 昭和33年6月1日発行

【作成者】 発行人高松市天神前板井助次

【解説】

先日、国の文化審議会において、香川県庁舎旧本館及び東館（香川県庁舎東館）を重要文化財建造物に指定することが、文部科学大臣に答申された。

香川県庁旧本館は、昭和31年1月に起工し昭和33年5月26日に竣工した。設計を丹下健三氏、構造設計を坪井善勝氏、家具類デザインを剣持勇氏、壁画デザインを猪熊弦一郎氏に依頼して、当時の金額にして約四億九千万円で建設された。金子知事が式辞において「新庁舎の落成を契機に、行政の近代化、合理化、能率化に創意工夫をこらす」と述べたように、新庁舎建築は、旧庁舎が空襲により焼失し長らく仮庁舎であったこと、また業務も職員も増加しその狭隘さに不便が募っていたことからの脱却、という念願を叶えるものだった。さらに、鉄筋コンクリート製のモダニズム建築の堂々たる姿は、戦災高松の復興と自治体香川の進むべき姿の象徴となった。

香川県庁舎旧本館及び東館の特徴は、第一に、一階部分に柱だけの広場（ピロティ）を設けた点である。設計者丹下健三氏は落成式の挨拶の中で、「この広場は県民のための広場であると考えたい、またそうであることを希望して設計した」と述べ、県民が親しんで利用できるようにしたと語った。館内も全面ガラス張りの開放的な設計で、一階部分は執務室を置かずに、中央の壁面の陶壁画のほか、庭園や休憩所、展示場など、フロア全体を県民に開放されたロビーとした。

第二の特徴は、階段、エレベーター、トイレ、給湯室、各種配管を中央に集中させた構造である。この「コア・システム」と呼ばれる芯と外壁によってこの建造物は支えられる。

ており、これにより室内には柱が存在しない広々とした空間が確保できるのだという。

第三の特徴は、奥行きのあるバルコニーである。日差しに配慮したもので、火災の延焼やガラスの散乱防止にも役立つ。また、外からこの庁舎を眺めたときの表情が、このバルコニーによって、五重塔などの日本的な表情との共通点を感じさせることを意図している。

第四の特徴は、現在立ち入りが制限されているが、屋上に展望台と喫茶室を設置し、県民に開放していたことである。県下を眺めながらコーヒーやビールがいただける魅力的な空間であった。

旧本館が竣工した際には、上記のような珍しい構造とデザインを見学しようと、多くの県民が新庁舎に押し寄せた。特別参観の期間は昭和33年5月28日から6月1日までの5日間で、延べ9万6千人が訪れた。

本資料は、香川県が現在も「みんなの県政T H Eかがわ」と改題し発行し続けている月刊広報誌である。当時、新庁舎竣工記念と題して特集が生まれ、新庁舎の外観、内観、竣工式や県政展の様子を、写真を豊富に使用して伝えている。その他、知事を始めとする御歴々の挨拶文や庁舎の解説、香川県庁建設の歩み等が掲載されている。

県広報誌は香川県政と香川県民の歩みを知れる資料である。当文書館にご来館いただき資料請求していただければ、創刊号（昭和24年）から最新号まで、概ね御覧いただける。また、昭和時代に限るが、広報誌の記事タイトルの詳細な目録も紀要第24号・第25号（2022年3月発行予定）にて掲載しているので、ぜひ活用していただきたい。

## 新庁舎の表情



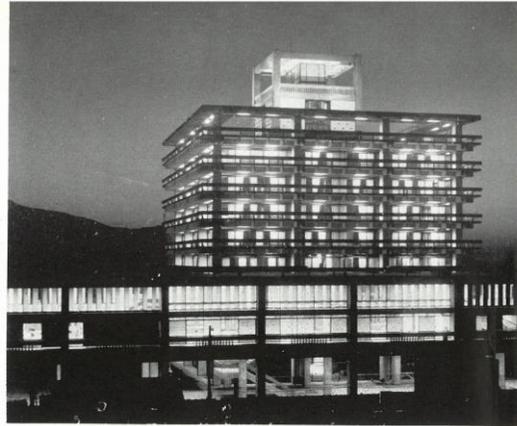
南庭からみた本館



本館屋上の塔屋



塔屋へあがる階段



新庁舎の夜景，下は南庭からみた本館





秘書課



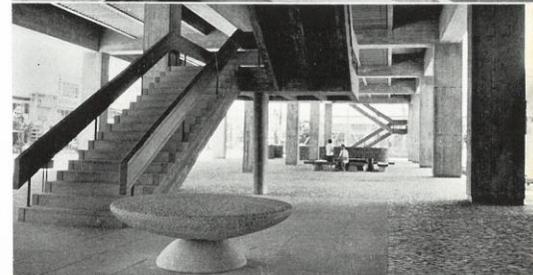
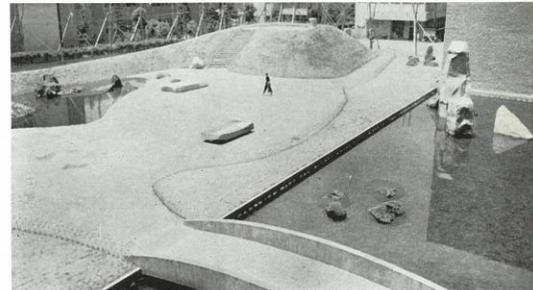
知事室

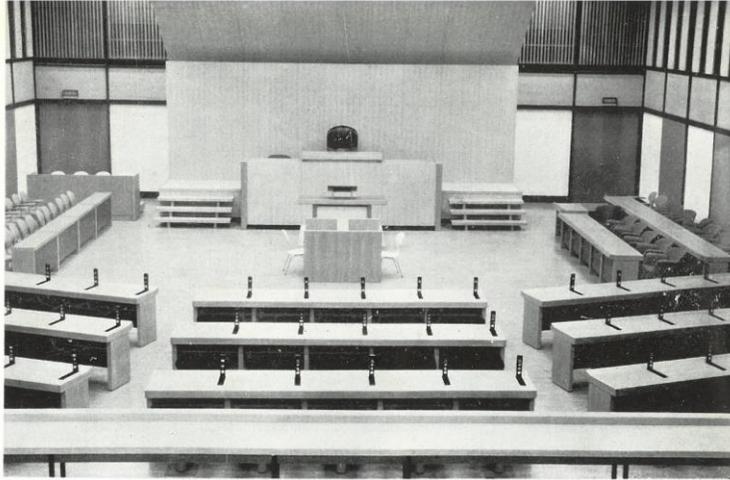


空からみた県庁舎全景、中は南庭、下は正面玄関前のピロティ



左上は特別室  
中は知事応接室  
下は副知事室





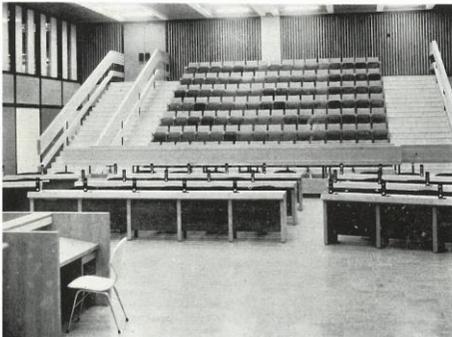
議事堂と傍聴席



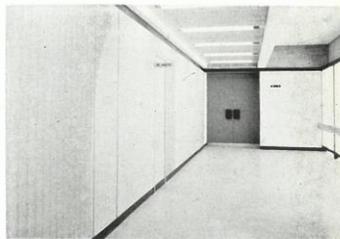
玄関受付



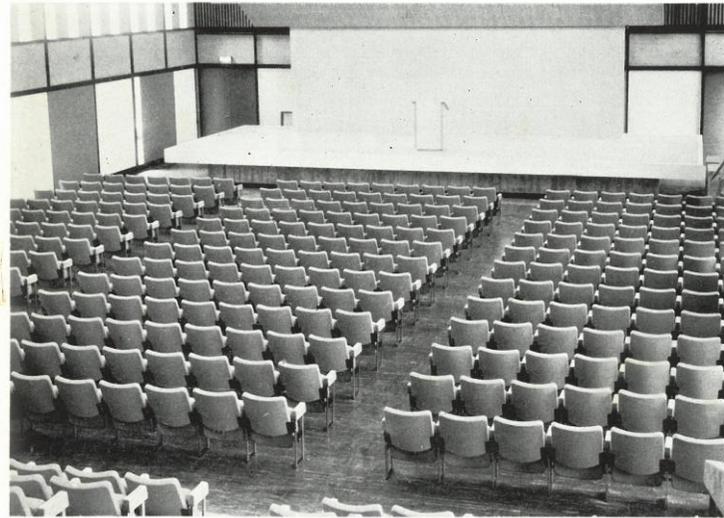
エレベーター(3台)



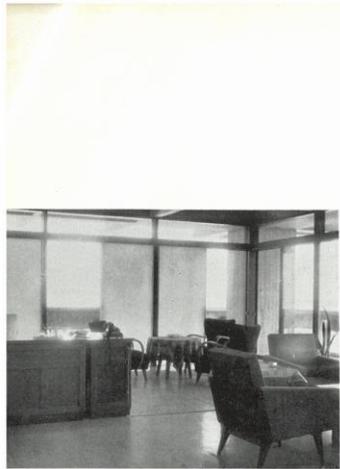
## 県議会



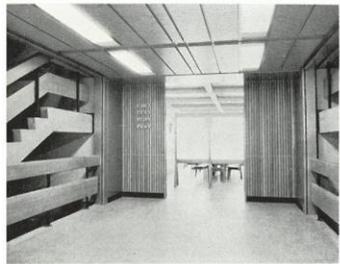
県議会のロビー(左)と議事堂前の廊下



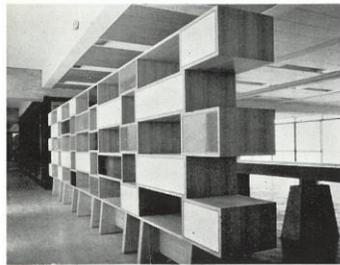
約500名収容の県庁ホール



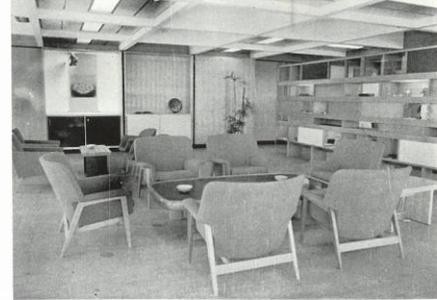
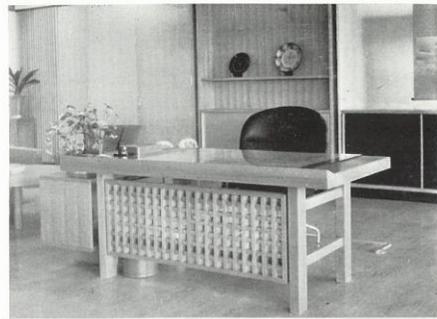
県議会副議長室



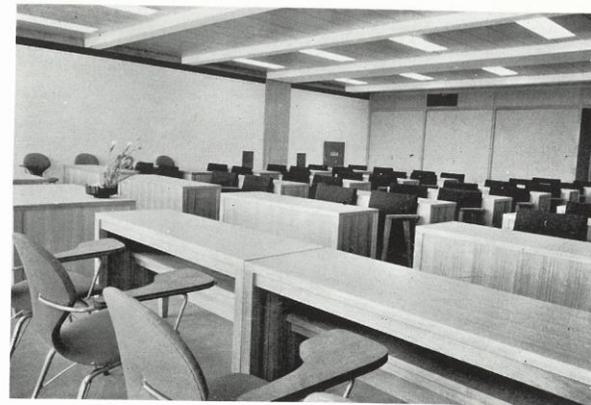
議会事務局入口



議会事務局のクロック

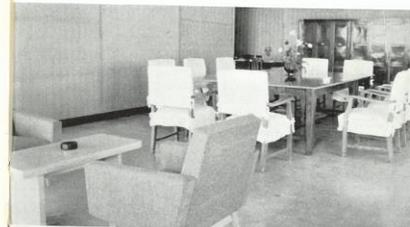


県議会議長室 (上と中, 下は議長応接室)



県議会委員会室 (上) 下は自民党会議室と控室

社会党の会議室 (上) とその控室





祝辞をのべる大久保県会議長

### 竣功式スナップ

上は来賓とかんぱいする知事  
下は楽団演奏



設計者、丹下健三氏の祝辞



竣功式、清めの獅子舞い

## 庁舎の竣功式



庁舎竣功の式辞をのべる知事と、下は来賓でうづまつた会場（県庁ホール）

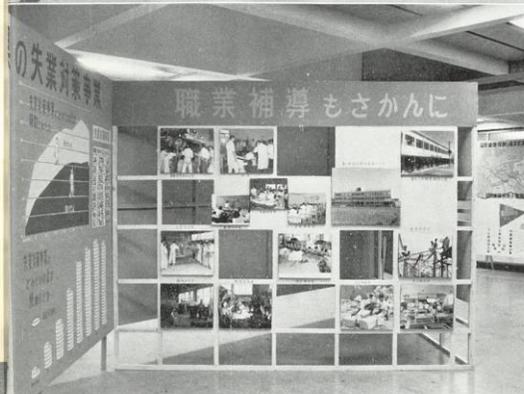


参観者96,000人にのぼった県政展



1階県民室のにぎわい、下右は教育展の生徒作品、左は警察展の会場

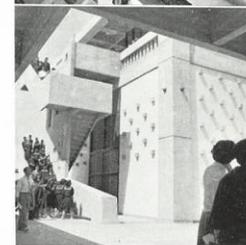
準備ととのつた県政展会場



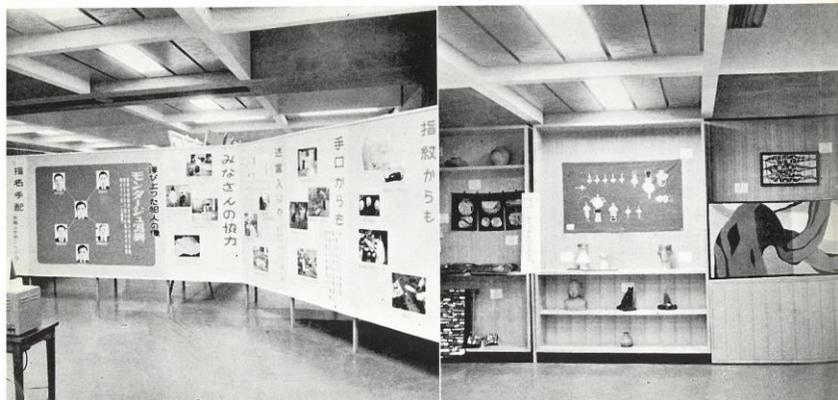
竣工記念の  
にぎやかな県政展



竣工式で開会の辞を述べる田中  
総務部長（県政展事務局長）

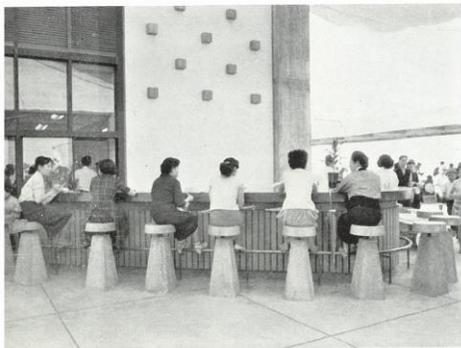


上は本館西側の渡り廊下会場  
下は屋上で休む児童たち





1階で催された南極展会場入口(右)と常設のギャラリー



屋上喫茶室のスツール



来賓の琴ヶ浜と案内する議長(左)副知事(右)



上は屋上喫茶室、下は竣工記念の「庁舎を撮影するコンクール」風景



上から、教育展、夜居研三氏の「私の高松港設計」、民生労働部関係のパネル、屋上の風景



新庁舎初の部課長会議後屋上で



庁内だより

中2階の県文金庫，下は参加団体30を数え，盛況をきわめた有線放送コンクール

